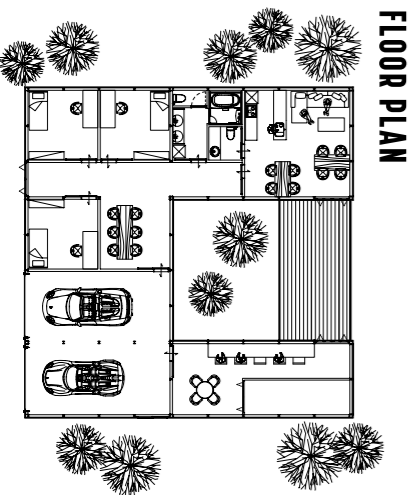


Text/Atsushi TAMADA CG/Kenta KITAGAWA (ldk) , Soma YOKOI



それぞれの部屋の距離感が適切に保たれるフロアプラン。各部屋の気配は伝わるが、干渉されない良い関係の間取り。傾斜地に生育する木々を、真ん中のサークルに残す。これすなわち、この家の鎮守の森。大自然への畏敬の念を表しているのです。コンクリートで地面に蓋をしない高床式工法は、その意味でも地球にやさしいのです。

FLOOR PLAN

雲峰富士を拝みながら脳みそを開放するひと時。暮らしにも仕事にも、こんな時間が必要なのです。デュアルライフだからこそその時間と空間。だからこのデッキは普段は何もしない場所で良いのです。でも仲間が集まれば、リビングの延長とも言えるし、仕事場の延長にもなるのです。

Wood Deck



「デュアルライフ」という言葉が、最近急激に注目されるようになってきました。デジタルテクノロジーの進化を上手に利用して、移動したり、いつもと違った場所で働き、遊ぶ。いろんな意味での二重生活。もはや住む場所は都会か？地方か？という二者択一では無い時代になってきて、両方のイイトコドリが現実味を帯びてきました。まだまだ生活スタイルの進化に余白はあるのです。ということで、今回は実際に計画中のデザイナーの住宅兼オフィスをご紹介します。

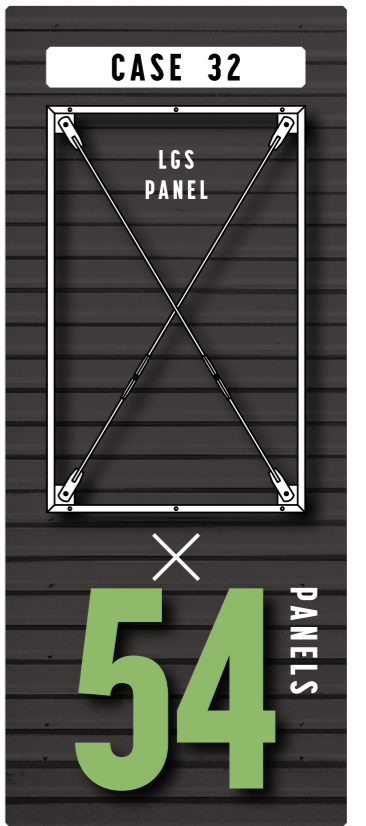
この家は、雲峰富士と素直に向かい合える傾斜地に計画。基本はこの連続で何度もご紹介してきた高床式工法「SPIRKY」を使ったガレージ付き平屋ですが、その特徴的な平面プランに注目してください。口の字のプランなのです。ドーナツのようにセンターに、無の部分が残り、この部分にはもともと生えていた木を残しています。それによって懐が深いプランになっているのです。オフィスとリビングが等価に富士山に向かい合うようにも設定。最も近く最も近い距離関係。その間をつなぐ

縁側のような機能の中間領域がメインカットにある「アクセスベース」。遊びと仕事。雲峰富士の雄大な質量感とエネルギーにインスピレーションをもらいながら、デザイナーの発想を練る。これは仕事か？遊びか？仕事の仲間が集まって、ここで新企画のミーティングをする。このように旧来の固定的な概念に納まらない新しい生き方を建築を通して提案する。新しい建築のカタチ。これがDaytona Houseのポリシー。是非、あなた仕様の「デュアルライフ」をイメージしてみてください。

Monthly Theme

富士山を望む傾斜地に建つ二重生活の新しい住処
都会と地方、仕事と遊び。旧来の概念や二項対立に納まりきらない、新しい暮らしのカタチ「デュアルライフ」。高床式のフラットハウスが、そのイメージを更に増幅します。

Daytona House が提案する新しい建築のカタチ



What's DAYTONA HOUSE ?

Daytona House を構成するのは、LGS と呼ばれる軽量鉄骨のパネルで、厚さ 3.2mm、幅 12.5cm、厚み 5cm の「C チャンネル」と呼ばれる部材を、横幅 180cm、縦 270cm の長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、「ブレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。「柱」と「梁」と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、Daytona House はこの LGS パネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこの LGS パネルを使った建物全てが Daytona House と言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分かりやすさと、パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。

Exterior

ミッドセンチュリースタイルの作法を忠実に守った正面外観。風景に溶け込み、不協和音をだしません。2台格納可能な駐車スペースの片側は、リフト付き。高い天井をフル活用して収納性も抜群。一旦斜面に下って、再び階段を登る玄関アプローチも、長年飽きが来ない自然体なデザインです。



www.daytona-house.com

LDKinc.

代表: 玉田 敦士
www.ldk.co.jp
03-6228-4933

Daytona ははじめ、カーマガジンでの長期連載、ムック本である CAR&HOME にて、常にクルマと住宅の関係について提案し続けてきた建築プロデュース会社 LDK inc. 建築設計はもちろんのこと、建築システムの開発や商品開発も行う。

Webサイトをリニューアル!